

各地でゼフィルス姿が見られる季節となりました。都内湾岸部の公園でも、アカ・ウラナミアカなどが観察されました。例年より発生は一週間ほど早いですね。近郊の山地では、オオミドリ・メスアカミドリやカラスシジミなども発生している様です。(総務幹事：田中和夫)

【6月例会】

日時：平成28年6月21日(火)(第3火曜日) 午後6:30~8:30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

講演：早坂弘次氏「メキシコ探訪記」

岩野秀俊氏「スギタニルリシジミの食性と食餌植物の再検討」

【今後の例会予定】 午後6:30~8:30、

7月16日(土)~17日(日)：夏合宿 立川市八ヶ岳山荘

7月23日(土)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演：大野和美氏「ロシア・サヤン山脈の蝶相(速報)」

その他

8月16日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

9月27日(火)(第4火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

10月18日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

「全員参加型例会」

11月15日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

12月11日(日)(第2日曜日、パレスホテル立川：予定)

「忘年会」兼「昆虫何でも競り会」

【連絡事項】

1. 『多摩虫 67号』原稿募集

今年9月発行予定の会誌「多摩虫」67号の原稿を募集致します。過年・今年海外採集に出掛けた方は記録の為にも是非報文(紀行文)等の投稿をお待ち致します。

又、一方、以前からの継続として“飼育雑感”をテーマに飼育に関する知見、及び短報、また特に蛾に関する記事も是非お願い致します。基本的には「虫」に関する記事なら何でも結構です。できるだけ大勢の方の寄稿をお願い致します。但し、他誌面で発表(講演は除く)済みと同一文面・同一内容の投稿はご遠慮ください。尚、カラーページは巻頭の数ページのみとなりますので承のうえ投稿願います。寄稿に際し、不明な点がありましたら遠慮無く編集幹事 羽鳥まで連絡ください。

原稿締め切り：7月31日 原稿送付先：羽鳥信義 (e-mail: hatori-9294@ac.auone-net.jp)

(編集幹事：内田 脩太)

2. 『2016年夏合宿』 詳細は別紙参照のこと

毎年恒例のグループ多摩虫夏合宿を、下記の通り開催いたします。どうぞ奮ってご参加ください。

1. 日時 平成27年7月16日(土)~17日(日)

2. 宿泊地 立川市八ヶ岳山荘

住所：〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545-1 TEL:0551-48-2309

3. 予定概略 雨天決行

1日目 7月16日(土)

朝、配車に従い集合の後、目的地に向かい採集・観察・撮影

15:00 八ヶ岳山荘集合

15:30 斎藤秀昭氏指導による「標本修正法」実演
早坂弘次氏による「蝶生態ビデオ」鑑賞
17:00 懇親会開始
18:30 夕食
19:30 夜間採集

2日目 7月17日(日)

7:30 朝食
9:00 記念写真撮影
9:30 解散、配車毎に各々目的地に向かい、採集、観察、撮影の後帰京

4. 参加費 1名: 1泊2食(夕・朝)・懇親会費含む、当日大野代表にお支払下さい。
大人: 6,000円、大学生・高校生: 5,000円、小4~中学生: 3,000円、小1~小3: 2,500円、
・往復の交通費(ガソリン代・高速代)は、各車毎に精算。
注意: 万一のことを考え、旅行保険は各自で加入してください。
また、健康保険証・お薬手帳・キャッシュカードも持参ください。

5. 定員 先着32名

部屋割りの関係上、家族毎に振り分け出来ない場合もありますので、ご承知ください。

6. 申し込み締め切り 6月25日(土)

但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

7月6日(水)以降のキャンセルは出来ません。参加費の全額をお支払いください。

7. 配車

参加者と車の提供者を勘案して、配車を決めます。極力車の提供をお願いします。

8. 申込方法

メール又はFAXで、下記内容を連絡ください。

大野和美 oono-kazu@ipone.ne.jp FAX 044-989-0507

- 1) 参加者氏名 2) 参加者連絡先(自宅電話・携帯) 3) 参加者住所 4) 同行者氏名
5) 同行者(参加者との関係) 6) 同行者(年齢・性別) 7) 車提供の有無

3. 『新着交換会誌、その他』

下記の交換会誌が送られてきています。6月例会で回覧します。

尚、本図書も貸し出し対象と致しますので、ご活用下さい。

1. 百万石蝶談会 翔 No.236・237
2. 静岡昆虫同好会 駿河の昆虫 No.253・254
3. 毛野・秩父虫の会 かみつけ No.9

4. 『住所・アドレスの変更』

生駒 太郎(イコマ タロウ): 新 E-Mail: parnassius@yb3.so-net.ne.jp

住所: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-9 Prospect axe The TOWER 18F

吉崎 孝(ヨシザキ タカシ): 新 E-Mail: ty1127cho@mbr.nifty.com

住所: 〒181-0015 東京都三鷹市大沢 6-5-11

鈴木陽花(スズキ ハルカ): E-Mail: fishfreshrefresh86@yahoo.co.jp

新住所: 福島県会津若松市河東町岡田字方便 132 番地 1

野崎 清生(ノザキ キヨタカ): 新 E-Mail: knozaki@jcom.zaq.ne.jp

住所: 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 5

5. 「新入会員の紹介」 :

渡邊恭成 (ワタナベ ヤスマサ) : E-Mail: yasumasa15@gmail.com

住所 : 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 1-18-5 斉藤ビル 502

鈴木優之 (スズキ マサシ) : E-Mail: psycho-g-beetle-cannon@docomo.ne.jp

住所 : 〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間 2-12-33 モアステージ大和 1101

【5月例会 概要】

5月17日(火) 18時30分より吉祥寺の武蔵野公会堂で開かれ、42名の参加者がありました。講演最初は、このほど「世界のタテハチョウ図鑑」を上梓された手代木求氏による「タテハチョウ図鑑刊行まで」でした。

氏はそれまでに「日本産蝶類幼虫・成虫図鑑Ⅰ、Ⅱ」を発行されておりますが、この図鑑はそれを世界にまで広げた大変な力作です。

添付資料が示すとおり、1989年の着想から2015年12月刊行まで、実に四半世紀を超える年月がかかっており、刊行まで私は生きていたろうかとの思いが去来したこともあったそうです。

昨今のデジタルカメラによる写真合成術を超える正確な描画による表現、校正作業の於ける一貫した“視点”、いかに完売するかなどが訥々と語られて、一つ大きな仕事を成し遂げた者の風格が感じられたことでした。

講演の二番目は、多摩虫も世のツイッターを取り入れたのですが、3月の総会では、良く理解していない者多数の状況でしたので、IT担当の中村清会員から説明がありました。

tweetとは和訳ではつぶやくとされることが多いのですが、本来は小鳥がチッチッと鳴くという自己主張の意味があるので、何らかの自己主張を込めたつぶやき(140文字以内限定)となるようです。

この多摩虫のメーリングリストは登録した方だけが見ることができ、投稿できますが、それを不特定多数に広げたものがツイッターの世界ということになります。

ですのでツイッターのID (identification, 身分証明書) を作成すればOKです。

必要な言葉を入れると、それに関係するtweetが示されて、例えば「多摩虫、飲み会」と入れれば、何方かがtweetしていれば、そこにアクセスして自分も参加する意思を伝えることができるということです。ま、使いたい人は使いましょう！

その後はいつもの「はなの舞」で懇親会が開かれました。

(企画幹事：北川朝生)

『第16回 高尾山の蕎麦と昆虫を楽しむ会』の報告

5月14日(土)に予定通り第16回高尾の蕎麦と虫を楽しむ会を実施致しました。

参加者は敬称略で、加藤禮子、ちばさとし、大山 勉、中村 清、斎藤秀昭 の5名でした。

近年、高尾の蛾の種類や数も減少傾向にあるし、今回は小人数で機動力があるので、観光客で賑わう高尾山はやめて、その南向かいに位置する初沢山の山頂で観察採集会を行うということで全員の意見が一致し、橋本家で蕎麦を楽しんだ後、車で初沢山の山腹まで移動し、山頂にてライトトラップと糖蜜トラップをセットしました。到着したのが6時半頃で、まだ明るかったので、付近で幼虫探しが始まり、アオダモでイボタガ、コナラでオオミズアオなど、数種類の蛾の幼虫がみつかりました。

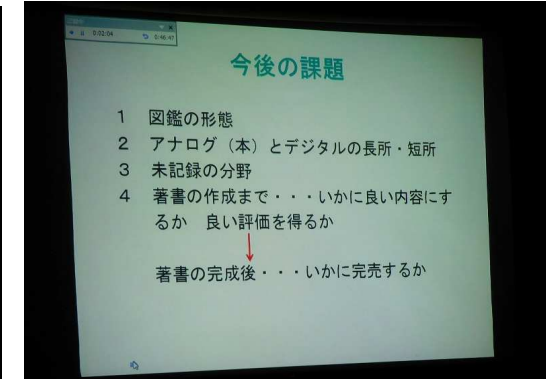
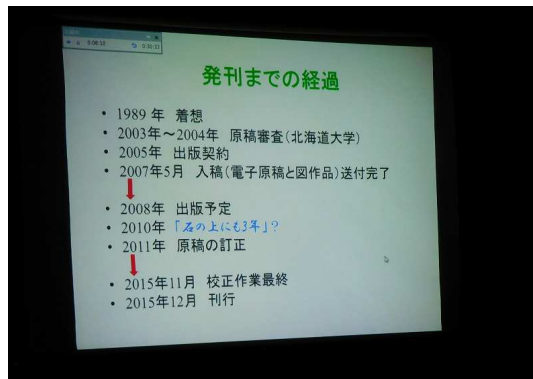
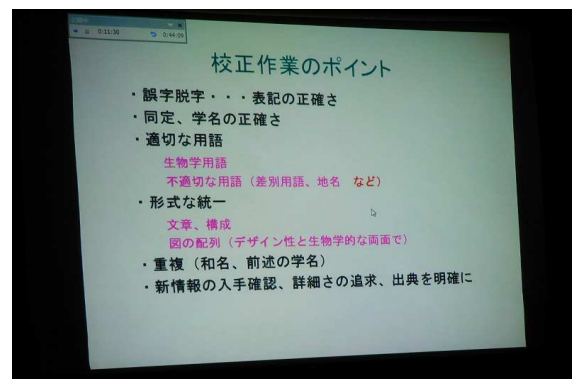
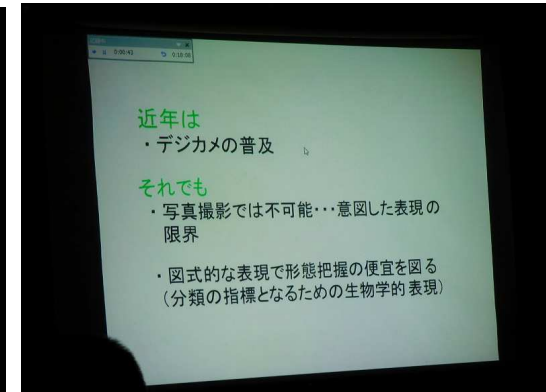
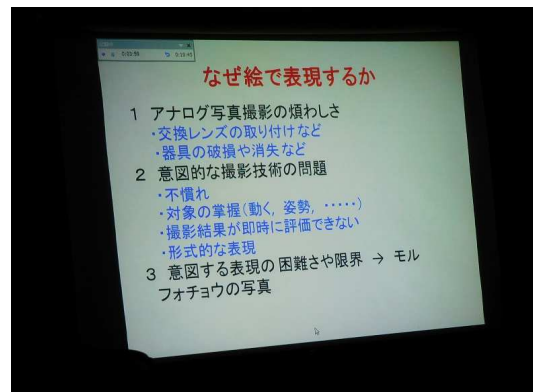
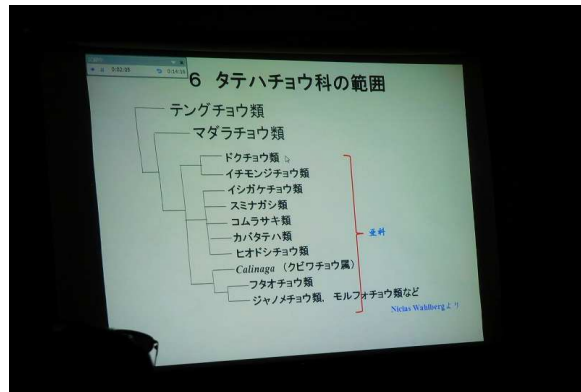
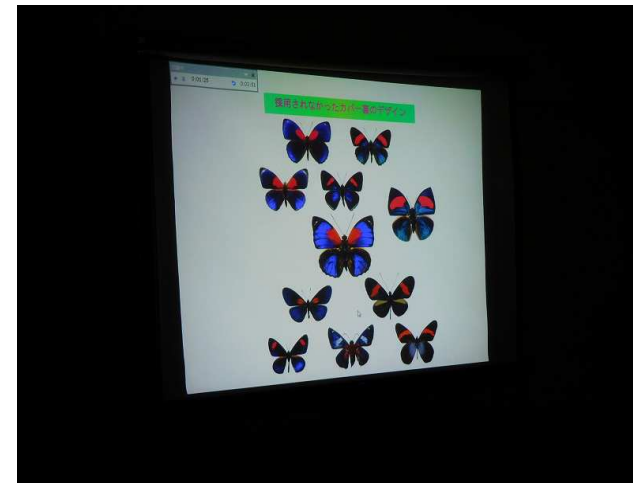
7時を過ぎると薄暗くなり、予想通りアサマキシタバが糖蜜やライトトラップに飛来しました。

8時頃にはライトトラップに多数の蛾が押しかけ、切り上げるのがもったいない感じでしたが、9時半頃店仕舞いをし、山麓の「かずき」で恒例の打ち上げをして帰りました。

加藤さん、ちばさんは昼も初沢山に登ってチョウの採集をされたということで、かずきで採集品を見せて頂きましたが、その中に前翅に広く白黄色のパッチが入っているカラスアゲハ♂の異常型が入っていました。あのような個体はこれまで見たことがありません。是非機関誌「多摩虫」に発表していただきたいと思います。

ご参加の皆様、お疲れ様でした。今後の高尾の会は、試験的に初沢山でやってみることにしたいと思います。ご興味を持たれた方はどうぞどしどしご参加下さい。(世話役代表：斎藤秀昭)

手代木求氏 「タテハチョウ図鑑刊行まで」



中村清氏 「ツイッターの解説」



「二次会の風景」



2016 年度グループ多摩虫夏合宿 参加申し込み書

1. 日時 平成 28 年 7 月 16 日（土）～17 日（日）
2. 宿泊地 立川市八ヶ岳山荘
住所：〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545-1 [TEL:0551-48-2309](tel:0551-48-2309)
3. 予定概略 雨天決行
1 日目 7 月 16 日（土） 朝、配車に従い集合。目的地に向かい採集、観察、撮影。
15:00 八ヶ岳山荘 集合
15:30 斎藤秀昭氏指導「標本修正法」実演
早坂弘次氏による「蝶生態ビデオ」鑑賞
17:00 懇親会開始
18:30 夕食
19:00 夜間採集
2 日目 7 月 17 日（日）
7:30 朝食
9:00 記念写真撮影
9:30 解散 配車毎に各々目的地に向かい採集、観察、撮影の後帰京。
4. 参加費 1 名：1 泊 2 食（夕・朝）・懇親会費含む 当日大野代表にお支払下さい。
大人：6,000 円、大学生・高校生：5,000 円
小 4～中学生：3,000 円、小 1～小 3：2,500 円。
・往復の交通費（ガソリン代・高速代）は、各車毎に精算。
**注意：万一のことを考え、旅行保険は各自で加入してください。また、健康保険証・お薬手帳
キャッシュカードも持参ください。**
5. 申し込み締め切り 6 月 25 日（土）
但し、定員（先着 32 名）になり次第、締め切りとさせていただきます。
注 1）部屋割りの関係で、家族毎に振り分け出来ない場合もあります。
注 2）7 月 6 日（水）以降のキャンセルは出来ません。参加費全額をお支払下さい。

切 り 取 り 線

2016 年夏合宿申込書

参加者氏名

- 1) 参加者連絡先（自宅電話・携帯）
- 2) 参加者住所
- 3) 同行者氏名

- 4) 参加者との関係
- 5) 同行者年齢・性別
- 6) 車提供（何れかに○を付けてください） 有 無

送付先 グループ多摩虫 事務局 大野和美宛て

〒215-0035 川崎市麻生区黒川 613-6 oono-kazu@ipone.ne.jp TEL/FAX:044-989-0507

「多摩虫」投稿規程

2013年3月17日 制定

2014年3月16日 改定

1. この「多摩虫」投稿規程（以下「本規程」）は、グループ多摩虫（以下「本会」）の機関誌「多摩虫」（以下「多摩虫」）への投稿に関する基本的な準則を定める。
2. 「多摩虫」への投稿者（以下「著者」）はグループ多摩虫の会員に限らないが、本規程に同意することを条件とする。
3. 「多摩虫」に投稿する原稿は、写真、図・表などを含め、著者のオリジナルのものとする。著者・共著者以外の第三者が作成したものを引用または使用するときは、引用の場合は引用部分を区別して表記したうえ出典を明記することとし、引用に当たらない第三者の写真や図表の使用については、その著作権者の承諾をあらかじめ得たものでなければならない。
4. 記事は、写真や図表を含めて3～10頁の採集記、飼育記録、解説、報告、エッセイなどを含む。短報は、写真や図表などを含め1ないし2頁に収まる観察記録などとする。編集幹事が「多摩虫」に相応しくない内容であると判断した原稿は、幹事会で検討し、その結果掲載しない方が好ましいと決議された場合は、著者にその旨連絡したうえ、当該原稿を返却する。
5. 投稿された原稿は、編集・校正作業の際、不適切表記等、著者による手直しをお願いする場合がある。
6. 編集幹事が校正した原稿を著者に送付し、著者校正を経て最終印刷原稿とする。
7. 著者（共著者を含む）は本会に対し、「多摩虫」に掲載される記事について、複製・翻案・公衆送信その他の一切の利用（将来生ずるあらゆる利用方法を含む）を許諾するものとする。たとえば、本会は、当該記事の電子データの作成やHPへの掲載をすることができ、また、増刷、復刻、電子出版など形態のいかんを問わず、「多摩虫」への掲載以降においても、随時、当該記事を追加出版することができるものとする。
8. 投稿者へは投稿件数にかかわらず、当該会誌を下記の通り配布する。
 - ・単独投稿の場合、会員にはプラス1冊（計2冊）、非会員には2冊進呈。
 - ・連名投稿で代表執筆者が会員の場合、代表執筆者にプラス1冊（計2冊）、他連名者が非会員の場合、各人1冊を配布する。
 - ・連名投稿で代表執筆者が非会員の場合、代表執筆者に2冊、他連名者も非会員の場合、各人1冊を配布する。

機関誌「多摩虫」への投稿に関する編集幹事からのお願い

1. 原稿は原則として「MS-Word」で作成し、そのファイルを編集幹事宛に、メール、CD-R、USBメモリなどで届けてください。「手書き原稿」の場合は、前もって編集幹事に受け付け可能か否かを問い合わせてください。編集幹事に時間の余裕が無いときには受付られないこともあります。・提出された原稿および記憶媒体は、原則として返却しません。
2. **文章データと図や表のデータは別々のファイルとして送って下さい。**本文中に図や表が挿入されていると、投稿者が設定した条件が不明なうえに、それぞれ異なり、機関誌の統一設定に合わせる際大変手間取りますので、よろしくお願いします。
3. 文中の**年月日や時刻、頭数、写真番号**などの**数字**は、一桁でも「**半角**」に、また、**英文文字**も「**半角**」にしてください。この「半角」文字指定には特に注意して原稿を作成して下さい。これがばらばらだと編集作業が大変煩雑になってしまいます。
4. **学名**など**イタリック体**とする部分には**下線**を入れてください。
5. **写真や図表**には**番号と表題**を付け、**デジタルデータ**として、**本文に挿入せずに別に用意**してください。また、本文中にそれらの挿入希望箇所を明記してください(例:写真1. ツマグロヒョウモン. jpgを挿入)。

・なお、写真は、印刷時にモノクロ写真となる可能性が大きいので、モノクロとなっても判別しやすい構図のカラー写真を選定してください。なお、挿入位置は、印刷時のレイアウト上やむを得ず希望とは別の場所になる場合があります。

巻頭カラーの掲載については、紙面の関係で必ずしもご希望に添えない場合があります。
6. 写真以外の**図および表**は、**モノクロ**で作成してください。また、エクセルで作成した図表などは、原稿と共にデジタルファイルを送付してください。表は、本文中に文字列として挿入しないで、別にエクセルで作るようお願いします。
7. **引用文献の記載形式**は以下の例にならってください。

- 日野隆, 2012. 東京・埼玉のミヤマシジミ. 多摩虫 59 : 42 - 48.
- 白水隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 568pp., 学習研究社, 東京.
- Eliot, J. N., 1969. An analysis of the Eurasian and Australian *Neptis* (Lepidoptera: Nymphalidae). *Bull. Br. Mus. nat. Hist. (Ent.) Suppl.* (15) : 16.
- Heppner, J. B., 1987. Adult behavior of the Taiwan primitive moth *Ogygioses caliginosa* (Lepidoptera, Paraeosetidae). *TyoGa* (38) : 13-15

原稿送り先： 編集幹事宛 (E-mail または郵送宛先)